学校番号	１００７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
講座名	現代文Ｂ						
使用教科書	新　高等学校　現代文Ｂ　（明治書院）						
副教材等	漢字ボックス（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な文章に触れることで、松原高校での２年間を含む自らの人生経験を振り返り、物事を深く考える態度を身につけましょう。文章をよく読んで、自分なりの問いを立てたり、自分の考えを言葉にしたりすることに挑戦していきましょう。また、自らと他者、社会という視点を軸として、思考力や想像力を豊かにしていけるよう、授業には意欲的に参加しましょう。漢字や語彙に関する知識を深めるため、漢字の宿題、小テストにはこつこつ真面目に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・文章内容を的確に理解し、他者に伝わるように表現することができる。
・主体的にさまざまな文章に触れ、ものの見方、考え方を豊かにし、生涯学び続ける態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 （出席状況） 記述の確認 （ノート、プリント課題等）	パフォーマンス課題の観察 （発表等の評価）	記述の確認 （ノート、プリント課題等）	記述の確認 （プリント課題等） 定期考査	記述の確認 （ノート、プリント課題等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1ターム	小説を読み、深く考える。	教材:「山月記」 ・人物の設定や言動から、その性質、心情を考える。 ・物語の展開を理解し、文章中の詩や表現を味わう。 ・作中人物と自らとを重ね合わせ、人間の自我や葛藤について考える。	○	○		○	○	a:文章を読んで、物語内容及び登場人物の設定や性質、心情を理解しようとしている。 b:仲間の多様な読みに触れ、自らの考えを更新することができる。 d:文章を読んで、物語内容及び登場人物の設定や性質、心情を理解することができる。 e:漢字や語彙を理解し、基本的な知識を身に付けている。	a:行動、記述の観察 b:パフォーマンス課題の観察 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト
2ターム	評論文の構造を学ぶ。	教材:「間の感覚」 ・文章中の対比構造を理解する。 ・日本社会に伝統的に受け継がれている文化を自覚し、自らに引き付けて考える。	○		○	○	○	a:文章全体の構造を理解し、自分に引き付けて考えている。 c:対比構造を生かして文章を書くことができる。 d:身の周りの事例を説明したり、他者の説明を聞いて再考したりすることができる。 e: 漢字や語彙を理解し、基本的な知識を身に付けている。	a:行動、記述の観察 c:記述の確認 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト
3ターム	小説を読み、深く考える。	教材:「博士の愛した数式」 ・人物の設定や言動から、その性格・性質、心情を考える。 ・人間一人ひとりの、ありのままの生や尊厳について考える。	○			○	○	a:文章を読んで、物語内容及び登場人物の設定や性質、心情を理解しようとしている。 d:文章を読んで、物語内容及び登場人物の設定や性質、心情を理解することができる。 e:漢字や語彙を理解し、基本的な知識を身に付けている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト
4ターム	評論文を読み、要約する。	教材「世間とは何か」 ・文章を要約し、自分の言葉で理解する。 ・抽象的な概念について、身の周りの事例を想像する。 ・日本社会における他者や集団の受け止め方を学び、自分ごととして考える。	○		○	○	○	a:文章全体の構造を理解し、自分に引き付けて考えている。 c:文章内容を過不足なく要約することができる。 d:身の周りの事例を説明したり、他者の説明を聞いて再考したりすることができる。 e: 漢字や語彙を理解し、基本的な知識を身に付けている。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。